



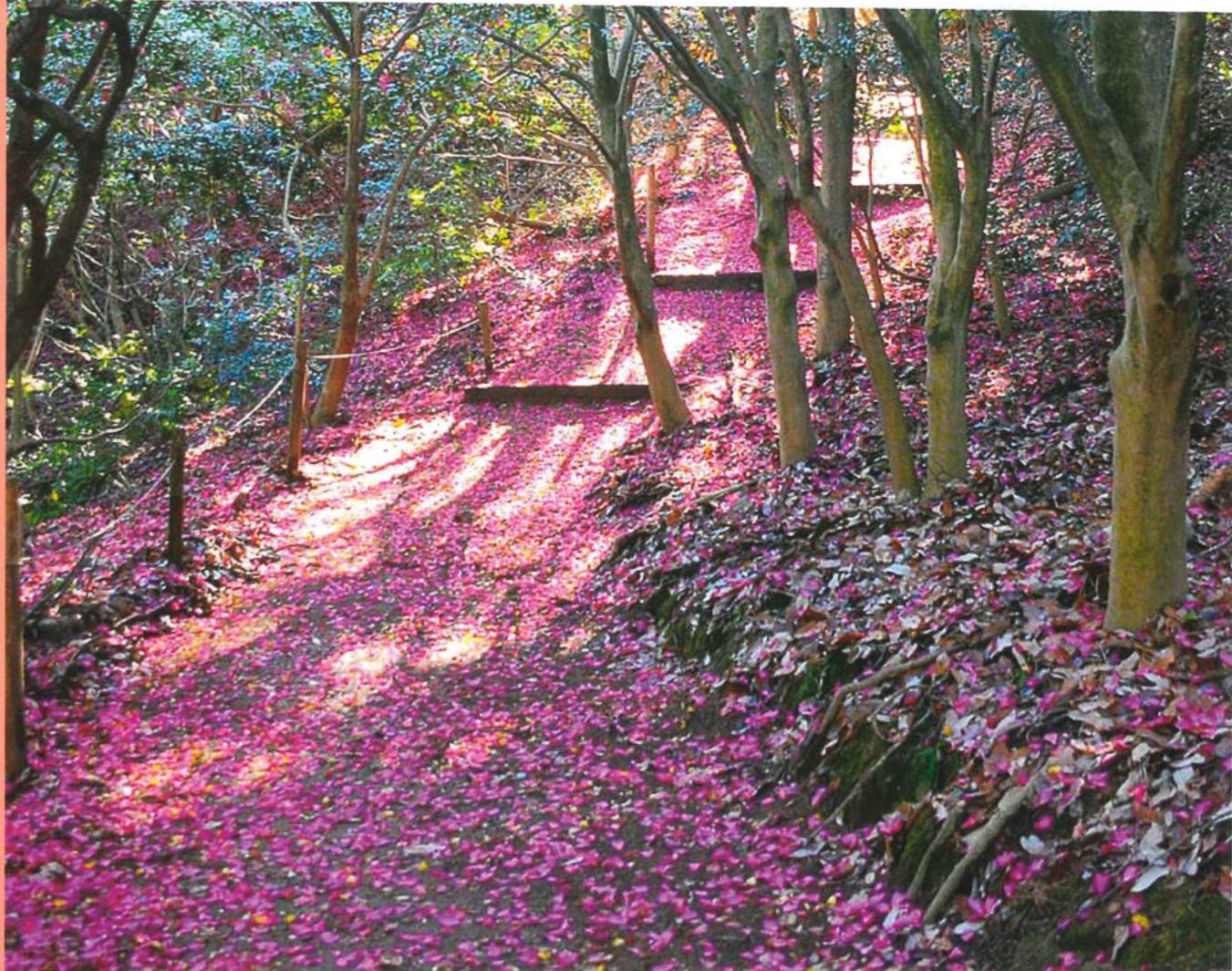
か・か・わ・看・護・だ・よ・り

124
令和6年1月1日

令和6年1月1日現在 会員数
7,659名

- 保 健 師 202名
- 助 産 師 309名
- 看 護 師 6,944名
- 准看護師 204名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4
TEL : 087-864-9070 FAX : 087-864-9071
<https://kagawa-kango.com>
発行責任者／安藤 幸代



山茶花の山道（みろく自然公園）

《目 次》

新年のご挨拶	2
受章者ご紹介／職能委員長の抱負	3
支部長の抱負／2024年度「看護の日・看護週間」記念行事	4
認定看護管理者教育課程セカンドレベルを受講して	5
香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会に参加して	5
研修管理システム「マナブル」についてのお知らせ	5
香川県地域包括ケアシステム学会 第6回学術集会	6
財政支援に関する要望／友納参議院議員来館	7
香川県立保健医療大学“橄榄祭”に出展して	7
理事会報告／寄付報告／2024年度 会費納入について／キャリナース お知らせ／編集後記	8



雪山ブランコ（雲辺寺）
写真提供：香川県立白鳥病院 松岡 悅子



新年のご挨拶

公益社団法人香川県看護協会

会長 安藤 幸代

新春のお慶びを申しあげます。

日頃から香川県看護協会の活動にご支援、ご指導を賜り厚くお礼申しあげます。

新型コロナウイルス感染症は5類になったとはいえインフルエンザと合わせ、様々な新たな課題に臨みながら各現場での実践に励んでおられることに、敬意を表し感謝申しあげます。

医療界だけでなく働き手の不足が社会的な課題になってきている昨今ですが、本年4月からは医師の働き方改革が実施されます。各施設でのタスク・シフト/シェアは進んでいますか。日本看護協会は「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」を令和4年6月に発行しました。国民に必要な医療が安全かつ、より一層タイムリーに提供されるよう、看護の専門性が発揮できる取り組みの参考としてください。さらに超高齢社会に向けて医療・介護人材の確保と育成の必要性が重要となり、看護職員と看護補助者との協働をさらに推進していくために看護補助者の確保・定着に向けた取組みも行います。また、DX化が図られデジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システムが令和6年度内に開始される予定となっているなど量的・質的双方の人材確保の課題解決や、限られた人材の中で効率的に看護の専門性を発揮していくための施策が強化されています。

さて、香川県看護協会では令和5年度は、5月以降コロナ前とほぼ同じに、長期の研修として認定看護管理者教育課程ファーストレベル（受講者55人）、認定看護管理者教育課程セカンドレベル（受講生38人）香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会（受講者35人）を実施しました。その他、新人研修や指導者研修、一般研修など多くの会員の皆様方が参集し、協会にも賑わいが戻ってきました。令和6年度は、教育管理システムマナブルが導入されます。会員の皆様にとって分かり易く使い易いシステムにしていきますのでどうぞよろしくお願ひします。

さらに、香川県看護協会は9月から感染管理認定看護師教育B課程を開講しています。令和6年度は6月開講の予定で進めています。今後の新興感染症に対応する看護師を養成するため香川県行政や県内施設の絶大なご協力・ご支援で開講しております。この機会をチャンスと捉え、県内の感染管理認定看護師にトライする看護職を募集します。今回限りの養成研修となっておりますのでよろしくお願ひします。

変化の多い時代、看護が必要とされるあらゆる場で、人々のニーズに応えられるよう看護への熱い気持ちを忘れず日々のケアに頑張りましょう。

本年が皆さんにとって、幸せな年になりますようにお祈りしております。

令和5年度

受章者ご紹介

おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます。

叙勲

瑞宝単光章



元 香川県立白鳥病院
副看護部長 松原 泰子 氏

一般社団法人
日本家族計画協会会長表彰

(健やか親子 21 全国大会 (母子保健家
族計画全国大会))



公益社団法人 香川県看護協会
講師(助産師) 高橋美佐子 氏

職能委員長の抱負

保健師職能委員会

委員長 秋山 美穂

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」になりました。それまで、IHEAT派遣や市町保健師の応援、関係機関との連携・協働など色々な方々の協力でなんとか乗り切ることができました。

今年は対面での研修会や交流会なども積極的に開催されつつあります。保健師職能委員会においても、昨年度に続き職域を超えた新任期保健師情報交換会を1回開催し、1月にも新任期保健師交流会を開催予定です。先輩保健師の体験談や交流会を通じて、共に学び合い・育ち合い、顔の見える関係づくりの一助となるようサポートしていく予定です。

私達、先輩保健師も地域保健活動推進に向けた保健所や市町、産業等の保健師など職域を超えた連携を行っていくと共に保健師自身が今後もビジョンを持ち人材育成に取り組んでいきたいと思います。



助産師職能委員会

委員長 阿部 慶

香川県は出生数の著しい減少により産科病棟の混合化が進み、助産師の専門性発揮のあり方が危機的状況を迎えています。令和5年度は県内の分娩を取り扱う総合病院のトップマネージャーの皆さんから貴重なデータを提供いただき、①母子のための産科病棟のあり方検討会、②地域における施設助産師活用推進検討会の2つの活動を進めております。今後も、県内助産師の皆さんと積極的に情報共有を図ってまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願ひいたします。



また、令和6年2月24日(土)には参議院議員の友納理緒先生を講師にお迎えし、「法的責任を踏まえた助産記録に関する研修会」(アドバンス助産師必須研修)を開催いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

委員長 熊野 知恵

看護師職能委員会Ⅰは、今年度も「看護師ラダーの推進」と「看護補助者と看護職の協働推進」に関する活動を行っています。

「看護師ラダーの推進」は、恒例となった「交流会」を、令和5年12月16日(土)に開催いたしました。今年度は、人材育成を組織としてどのように進めているのか意見交換を通して共有できたらと考え、サブテーマを『教育担当者の役割』と致しました。一方、「看護補助者と看護職員の協働推進」については、確保・定着に着目し、各ご施設における現在の看護補助者の状況を、昨年よりも深掘りした形のアンケート調査を実施致しました。

それぞれ、集計・分析を行い、有意義なご報告となるよう、委員ともに努力して参りたいと思います。

看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域

委員長 谷脇 直美

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたものの今もなお様々な感染対策をされながら毎日をお過ごしの事と思います。

看護師職能委員会Ⅱでは昨年、認知症対応力向上研修を企画・開催し、医学的見地から認知症を学び直すと同時に多くの方が困難と感じているBPSDにも焦点をあて、その方の困りごとに寄り添いながら適切にアセスメントし対応する方法を学習しました。今年2月には看取りケア検討会企画の研修会を通して尊厳ある看取りについての理解を深め、看取りガイドラインの活用促進を目指して参ります。

皆、働く環境は違う中、各々の参加者が持つ強みを研修の度に感じます。今年も積極的なご参加と意見交換をよろしくお願ひいたします。

支部長の抱負

【第1支部長 林 珠美】

地域住民が安心して治療・療養生活が送れるよう援助するため、多職種連携交流会を開催しました。地域の医療職、介護職等が互いの役割を理解しネットワークを広げることができました。看護職においても自施設の地域での役割を再認識することができました。

引き続き、地域と連携しながら支部活動を行い、地域包括ケアシステムの構築を推進していくことを考えています。

ご支援ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

【第4支部長 南原 愛子】

昨年は、塩まつりに「まちの保健室」として参加し、地域住民への保健指導を行いました。また、支部総会・研修交流会を開催し、坂出聖マリーチン病院の神経難病病棟でのコミュニケーション支援について講演をいただきました。地域のネットワークづくりのためにも、もっと地域の施設で働く看護職の方にも参加していただけるような企画を検討できればと思っています。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

【第5支部長 福屋 純子】

第5支部では、先月「新人看護師の離職防止を考える」をテーマに、わが町の看護チーム交流会を開催しました。保健所を含む各施設からの教育担当者・実地指導者・看護管理者（看護部長・副部長含む）計55名の参加があり、取り組み発表を通じた離職防止対策の共有や、グループワークでは現場の悩みを共感するなど、現場に活かすことのできる機会となりました。今年度も皆さんとの声にお応えできる交流会となるよう努めて参ります。

【第2支部長 山田 寿美】

支部活動へのご協力ありがとうございます。第2支部は、小豆医療圏地域包括ケア連絡会介護部会と共に、地域包括ケアシステムの構築に向け共に活動をしています。今年度も、住民向けの研修会や交流会を開催し、地域住民の方が元気で在宅で暮らせるよう行政と一丸になり活動をしていきます。4年前から目標に掲げている、ACPの啓発も引き続き努めています。そのためには介護部会との連携は欠かせませんので、多職種連携を強化していきたいと思います。引き続き、意志決定支援におけるスキルアップ、看護職の役割強化、島民の方々のニーズに合った研修会などを企画していきます。今年も、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

【第3支部長 原渕美千代】

昨年の活動として、地域の会議に継続して参加することで看護職としての発言する機会が増え、役割を理解してくれるようになったと感じています。今後、地域の行事に参画するためには看護職のネットワークの構築が欠かせないと思っています。そこで、昨年は地域の会議でも検討されている「災害の備え」について交流会を企画しました。今年も地域の課題を共有できるように看護職連携を強化していきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



【第6支部長 多田 清美】

支部活動につきましてご協力いただきありがとうございます。
支部での地域交流会を通して、地域における看護の現状やニーズ、課題を共有し活動をしております。2月には対面での支部交流会「医療従事者のメンタルヘルス」を開催する予定です。各施設の現場で元気に活躍できるよう、今年も支部での交流会や研修を通して、ネットワークの充実や情報発信を行う等、継続した活動ができるよう計画的に取り組んでいきたいと考えています。

【第7支部長 守谷 正美】

令和5年度は4年ぶりとなる看護の心普及事業「まちの保健室」を開催することが出来ました。令和6年度は開催場所を変更し、より多くの方々との交流を通して、地域住民の健康増進に寄与できればと思います。また地域包括ケア交流会では災害対策を含め、地域の看護師との連携を強化してまいりたいと考えています。皆様のご参加ご協力をよろしくお願いいたします。

2024年度「看護の日・看護週間」記念行事

2024年度は、記念講演は開催せず、日本看護協会から5月13日（月）に配車されるラッピングバスを活用した行事を実施します。

オープニングセレモニー、出前講座、学校訪問等、また県下をラッピングバスが走行予定です。

具体的な計画はこれからになります。行事に関してご希望があれば、香川県看護協会までご連絡をお願いします。



【2023年度 看護週間のラッピング・バス】



もちろん「かんごちゃん」も同行します。

認定看護管理者教育課程セカンドレベルを受講して

高松赤十字病院 横山 知子

約5か月間のセカンドレベル研修は、常に自施設や自部署の「あるべき姿」の追求だけでなく、看護管理者としての自分自身の「あるべき姿」を模索し、向き合った期間でした。私自身、今年度より師長として部署を管理する立場となり、日々の実践を研修で学習した理論と結びつけて考えることができ、より深い学びになりました。「総合演習」の看護管理実践計画書の作成では、目の前にある問題にばかり着目してしまい、あるべき姿とのギャップが課題であるということについて、何度も繰り返しご指導いただきました。グループワークディスカッションでは、それぞれの課題の分析方法や方策についてお互いに意見を出し合い、最終的に実践計画についてのプレゼンテーションを行うことができました。計画書ができることで満足するのではなく、今後の看護管理においても常にこの学びを活かし、常に前向きに看護管理を実践できるように取り組んでいきたいと思

います。

今回の受講を通して私が得た一番大きな財産は、受講生38名とネットワークを築くことができたことです。研修開始当初は、日々の業務と研修や課題の両立ができるのかという不安でいっぱいでしたが、同じ管理者として悩みや問題を共有し、問題解決に向けて一緒に取り組むことで仲間意識が強くなり、研修が終わることがとても寂しく感じました。このような素晴らしい仲間に出会えたことに感謝しています。最後になりましたが、香川県看護協会の皆様には暖かいご支援やアドバイスをいただいたこと、心より感謝いたします。



香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会に参加して

まるがめ医療センター 馬場 美紀

26日間の香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会を受講させていただきました。講義では、教育の基礎から心理学、看護教育の実際、指導者に求められるスキル、考え方などを学びました。今回の学びで感じ、心に残ったことは、学習者も指導者も共に学び、成長していくこと、思考は言語化しないと伝わらない、相手を知るために發問が大事でコミュニケーションの重要性を知りました。



した。今後、コーチングスキルを駆使し、学生の自己効力感を高めていけるよう関わっていきたいと思います。

また、グループ討議では、実習指導案作成に取り組み、受講生との共通問題を認識し、指導の視点を発見する事ができ、リフレクションが重要である事も実感しました。指導案作成は大変でしたが、受講生で協力し、学生の為にと熱い思いで作成する事ができました。今回学んだことを各々の施設のスタッフと共に共有し、学生にとって有意義な実習が送れるよう貢献していきます。

最後に、この講習会に携わっていただいた講師の方々、看護協会の皆様には心よりお礼を申し上げます。

研修管理システム「マナブル」についてのお知らせ 令和6年度よりマナブルによる研修申込が本稼働します



manaable
全ての人の学びを可能に

【利用時留意事項】

申込前には必ず事前登録を！

- ・研修3日前には、登録されたメールアドレス宛てに研修のお知らせ送付
届かない場合は、迷惑メールフォルダーの確認を
- ・支払い完了後に領収書のダウンロードが可能（領収書の発行は1回のみ）
ファイルが見あたらない場合は
【ホームページ→お知らせ「マナブルについて」→マナブルヘルプサイト】にて確認
- ・研修当日は、カメラ機能の付いたスマホまたはタブレットを持参
出席、退席はQRコードで読み取り確認をするため
- ・支払い済み研修はキャンセル不可（受講料等の返金も不可）

※ 問い合わせは、(087-864-9070) 事務局まで

香川県地域包括ケアシステム学会 第6回学術集会



（大会長 安藤幸代）

広報出版委員 西尾たまも

令和5年12月10日（日）、レグザムホールで「香川県地域包括ケアシステム学会 第6回学術集会」が開催されました。学術集会は、学会に所属する団体が順次当番制で担当し、今回は当会が担当しました。テーマを「わが街で自分らしく暮らす～ご当地システムを考えよう～」とし、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、栄養士、社会福祉士等、多職種の方々が273名参加しました。

一般演題では30題の発表があり、独自の取り組みが報告されました。その後、田中志子先生の基調講演、引き続いてシンポジウムが開催され、香川県看護協会からは第3支部理事 原渕美千代さんが「地域の特性に応じた看護職参画型推進への取り組み」を紹介しました。

基調講演 「地域包括ケアの実際～人口44,000人の群馬県沼田市のケース～」

医療法人大誠会内田病院 理事長 田中 志子 氏

今回の基調講演は、医療法人大誠会内田病院 理事長 田中 志子先生をお迎えし、「地域包括ケアの実際～人口44,000人の群馬県沼田市のケース～」をテーマで、ご講演頂きました。内田病院を含む大誠会グループは群馬県沼田市にあり、沼田市が属する二次医療圏は人口77,000人、高齢化率36.4%で、群馬県内でも特に人口減および高齢化的進展が早い地域です。グループの中核を担う内田病院は高齢者、特に認知症を有する方への地域医療に携わっており、総病床数99床で、内訳は地域包括ケア病棟20床、障害者施設等一般病棟29床、回復期リハビリテーション病棟50床で、2010年には群馬県から委託を受け、群馬県認知症疾患医療センターとなりました。グループの理念における基本方針に「必要なものを創り出す」があり、先生は地域包括ケアシステムの中で、どのようにすれば認知症や障害のある人たちと病院が、地域と共に共生・共存し暮らしやすいまちづくりができるのか、自分たちの専門性を活かした役割は何かを考え、地域における医療、介護の関係機関が彼らの生活と連動し、包括的かつ継続的な在宅医療、介護の提供を行なうことや、個人個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めてこられました。



演



ご講演のなかで、身体拘束ゼロでの認知症ケア「大誠会スタイル」が紹介されました。入院時、不安で混乱している患者に対して、目を合わせ、優しくゆっくりと声をかけ、気持ちを確認し、共感し、受け止める、分かろうとする、タッチングすることによってこの場所が安心できると思ってもらい、認知症の行動・心理症状（BPSD）を作り出さない（作らせない）ようにすることが重要で、具体的方法をスタッフとともに検討し、実践されていました。現場すぐに実践できそうな方法もあり、明日からみんなで取り組んでみようと思いました。また、『認知症や障害がある人たちであっても、「やりがい」があることが「生きがい」になる』という言葉が特に印象に残りました。病院の中だけの活動にとどまらず、地域における居場所づくりをおこない、共に生活する基盤を創り上げていった先生とスタッフの熱意を受け止め、自分たちが働いている職場や生活している地域で、私たち看護職にも何かできることはできないかと考える良い機会となりました。

医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する要望について

日本看護協会の「各県選出の国会議員に対して財政支援に関する要望活動を行う」という方針により、香川県においても、香川県看護連盟の中村明美会長とともに5名の国会議員の事務所を訪問し、要望させていただきました。

厳しい労働環境下で勤務されている全ての看護職員の待遇改善の抜本改善が実現されることを心から願っています。

会長 安藤 幸代



【参議院議員 磯崎仁彦事務所にて】

要望事項

- 物価高騰に苦しむ医療機関、訪問看護事業所、介護保険施設・事業所等の経営を支援し、すべての看護職員の待遇改善が可能なよう、必要な財政措置を講じられたい。
- 令和6年度診療報酬改定において「看護職員待遇改善評価料」の対象をすべての看護職員に拡大するとともに、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定において同様の措置を講じられたい。

日 程	訪 問 先
11月24日 (金)	衆議院議員 大野敬太郎（丸亀事務所）
	衆議院議員 瀬戸 隆一（坂出事務所）
	衆議院議員 平井 卓也（高松事務所）
11月27日 (月)	参議院議員 磯崎 仁彦（高松事務所）
	参議院議員 三宅 伸吾（高松事務所）

友納理緒 参議院議員が来館

友納議員は、12月3日に香川県で開催された自民党青年局四国ブロック会議に出席され、翌日の12月4日に香川県看護協会看護研修センターに立ち寄られました。

短い時間でしたが、議員としての日々の活動や看護職員の賃上げに係る財政支援等含めた国会の動きなど、看護の代表としてのご活躍をお伺いすることができました。

看護協会として今後も、皆さまのご協力・ご支援をいただきながら、看護職の働き方改革の推進、勤務環境の改善等が図られるよう取り組んでいきたいと感じました。

常任理事 岡田 諭子



香川県立保健医療大学 “橄榄祭”に出展して

新任看護職の離職率が他県に比べて高いことが香川県としての課題となっています。そこで、看護学生さんを対象に看護協会やナースセンターを身近に感じていただき相談できる窓口として、「目標にむかってすすむあなたを応援します」をキャッチフレーズに、かんごちゃんと一緒に大学祭に香川県看護協会として出展させていただき、PR活動を行いました。

今後も、様々な催し物などに参加し、看護職の応援者として少しでもお役に立てればと思っています。

ティッシュ配布によるPR 94名、かんごちゃんクイズ33名、講話14名の参加がありました。

日 時：11月11日（土）10：00～15：00

従事者：香川県看護協会役職員

香川県ナースセンタ就業支援コーディネーター

感染管理認定看護師、訪問看護師、かんごちゃん

専務理事 田中 邦代



理事会報告

第4回 令和5年12月2日(土) 9:00 ~ 11:00

●協議事項

- 令和5年度第2四半期会計報告(案)、監査報告について
(承認)
- 香川県看護協会 令和6年度 年間行事予定(案)について
(承認)
- 令和6年度 教育研修計画(案)について(承認)
- 看護の日・看護週間記念行事(案)について(承認)

寄付・寄贈報告

* 東洋羽毛中四国販売株式会社高松営業所様よりご寄付をいただきました。
* 香川県看護連盟様よりプロジェクトを寄贈いただきました。
感謝申しあげます。

2024(令和6)年度 会費納入について

日本看護協会から届いている「継続のお知らせ」に記載されている「会費納入方法」をご確認いただき、納入をお願いします。

口座振替	会費の第1回目の引落し日は、令和6年2月27日(火)です。 口座振替依頼書に記入した口座の残高確認をお願いいたします。 なお、残高不足等で引落しができなかった場合は、後日、ご自宅へ届く「コンビニ払込用紙」で納入ください。
勤務先で取りまとめて納入(※)	勤務先の担当者様にご確認ください。 ご担当者様は日本看護協会が指定する「施設の専用口座」へお振込みください。
銀行振込・コンビニ収納(※)	「継続のお知らせ」に同封されている「振込・払込用紙」でお振込・支払ください。

(※) なるべく令和6年1月20日(土)までに納入ください。

“キャリナース”への登録をお願いします！

香川県看護協会会員の登録者数は2,055名／7,659名(2024年1月1日現在)です。
キャリナースは会員の皆さま専用WEBページです。ご登録いただき、ご活用ください。



お知らせ



専門職能団体
看護協会への入会を!!!

研修会・行事等の変更・中止の場合は、
ホームページに掲載いたします。

1 感染管理認定看護師教育B日程の募集

願書受付期間：令和6年2月5日～3月15日 17時
(当日消印有効)

募集要項・出願書類：香川県看護協会HPよりダウンロードしてください。

2 令和6年度 香川県看護協会定時総会・職能合同交流集会、合同委員会の日程が決まりました。

定時総会・職能合同交流集会 6月16日(日)
合同委員会 6月22日(土)予定



編集後記

あけましておめでとうございます。
今年は辰年です。辰年は十二支の中で最も縁起の良い干支と言われています。
皆様にとって幸多き辰年でありますように。

